

学番 4 9 新潟県立加茂農林高等学校 農業科（全日制）

1 学科の特色及び教育課程の特色

【1年生】

入学時は農業科としてくくり募集し、1学年は共通科目を学習します。

学科名	主な学習内容
農 業	専門的な分野（全10コース）についての基礎的な学習を行うことにより、2年生からのコース選択に役立つ学習を行います。

【2、3年生】

2年生から興味・関心、進路希望等に応じて10コースに分かれて学習します。さらに、大学等への進学希望者には、普通科目の選択により進学に対応します。

学科名	コース名	主な学習内容	特徴的な活動(H27年度実績)
環境緑地	緑地工学	環境を守る上で必要な、森林や樹木の保育及び利用方法	間伐材を利用した木工品の生産、炭焼き、きのこ栽培
	環境土木	自然と調和のとれた街作りや道路、河川、農地の造成	建設業協会などと連携した建設工事現場での現地研修
食品技術	食品製造	パン、洋菓子、ジャム、味噌など各種の食品加工や製造	校外の各種イベントでの加工品の販売
	食品流通	食品産業に必要な、情報処理や食品に関する経営及び流通	アンテナショップ（のうりんショップ）
生物工学	バイテク	農業生産に役立つ植物バイオテクノロジーや微生物利用	天然記念物・野中桜の培養 古典菊・秋葉錦の増殖
生産技術	作物	新潟の基幹作物である各種のイネの栽培方法や農業経営	近隣小学校の児童とのイネを通じた交流活動
	野菜	各種の野菜における露地栽培、施設栽培の方法や農業経営	新鮮野菜の地域への訪問販売
	草花	鉢花を中心に各種の草花の栽培方法と利用方法	加茂市河川敷や福祉施設の花壇への植え込み
	果樹	地域農業を支える各種の果樹の栽培方法や農業経営	ル・レクチュの品質向上に関する研究（外部機関との連携）
	動物	和牛（肉牛）、豚、採卵鶏、肉用鶏の飼育方法や農業経営	HACCPのクリーン農場、動物を介した交流活動

※ 平成29年度に新たなコース(仮称「生命情報コース」)を設置する方向で検討・調整を進めています。

2 進路について (平成28年3月卒業生 207名)

進学	106名 (51%)	国公立大学 2、私立大学14、短大6、専修・各種学校73、農業大学校 3、テクノスクール6、その他進学2
就職	95名 (46%)	県内企業87、県外企業2、縁故・家業2、公務員等4
その他	6名 (3%)	家事 等

生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を最後まで行います。

3 入学者選抜方法(平成28年度入学者選抜)

学科	募集定員	特色化選抜	一般選抜	
農業	200	なし	調査書：学力検査 4：6 (1,000点)	学校独自検査・配点 (個人面接・200点)

※ 募集定員は平成28年度のもので、平成29年度募集学級数及び募集定員等は10月下旬頃に決定します。

4 出願について中学生に望むこと

- ア 加茂農林高校の特色や学習内容をよく理解して出願してください。
- イ 専門教育の学習に興味・関心を持ち、意欲的に学習しようとする生徒を望みます。
- ウ 高校での学習に耐え得る、しっかりした基礎学力を身につけておいてください。
- エ 自然を愛し、動物や植物に興味を持ち、「実験・実習」が多いところから真面目に根気強くコツコツ努力する生徒を望みます。

5 中学生1日体験入学

実施日 平成28年8月1日(月)

※内容等については、本校のホームページをご覧ください。

6 その他

- (1) 明治36(1903)年新潟県立農林学校として開校以来、全国の農業高校の中でも有数の輝かしい伝統と歴史を誇ります。創立時に作られた歴史ある赤門や、そこから続く全国屈指の植物園、県内の学校でも最大規模のバイテク設備や広大な農場、多くの動物、植物、研究棟など、すばらしい環境に恵まれています。
- (2) 人づくりの精神は開校以来現在でも健在です。しっかりとした生活指導のもとに、学習指導、進路指導など、きちんと最後まで面倒を見ていく教育を行っています。
- (3) 取得できる主な職業資格・検定一覧
日本農業技術検定、危険物取扱者試験、測量士補、初級バイオ技術者検定、造園技能検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、アーク溶接技能特別教習、小型車両系建設機械特別講習、玉かけ技能講習、アグリマイスター顕彰制度
- (4) 部活動は運動部・文化部・同好会が計27あります。また、全国の農業高校生全員加入の学校農業クラブもあり、毎年、全国大会で活躍しています。